

SUR 合格指導会

2020 夏期講習



 **合格指導会** 

堺東校

現役で難関大学へ。

SUR 合格指導会では、意欲ある高校生に対し、現役で京都大学、大阪大学をはじめとする難関大学へ合格する体系的な指導を提供します。

授業の中に、合格の手応え。

SUR 合格指導会は、中高 6 年一貫指導で東大・京大を目指す「大学進学塾 SUR」の指導経験を踏まえ、難関大入試に直結した授業を高 1 から展開します。

授業の中で、合格への確かな手応えを感じ取っていただきたいと考えています。

2020 年度大学入試 合格実績

国公立大学 計 149 名

東京大学	1 名	京都大学	11 名		
大阪大学	21 名	神戸大学	13 名		
大阪市立大学	19 名	大阪府立大学	21 名		
和歌山大学	18 名	大阪教育大学	4 名	奈良女子大学	4 名
和歌山県立医科大学	4 名	徳島大学	3 名	兵庫県立大学	2 名
奈良県立医科大学	2 名	奈良県立大学	2 名	筑波大学	2 名
滋賀県立大学	2 名	三重大学	2 名	鳥取大学	2 名
京都工芸繊維大学	1 名	神戸市外国語大学	1 名	弘前大学	1 名
東京工業大学	1 名	金沢大学	1 名	岐阜大学	1 名
静岡大学	1 名	静岡県立大学	1 名	名古屋大学	1 名
滋賀大学	1 名	三重県立看護大学	1 名	鳴門教育大学	1 名
香川大学	1 名	九州大学	1 名	九州工業大学	1 名
長崎大学	1 名				

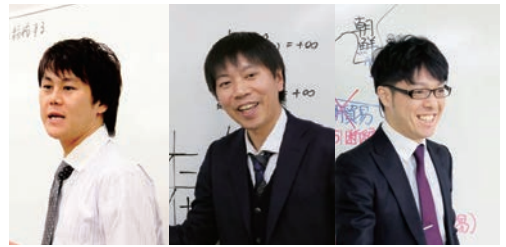
私立大学 計 728 名

同志社大学	50 名	関西学院大学	44 名		
立命館大学	39 名	関西大学	140 名		
近畿大学	126 名	武庫川女子大学	38 名	関西外国語大学	26 名
桃山学院大学	23 名	摂南大学	21 名	大阪工業大学	21 名
畿央大学	20 名	龍谷大学	18 名	関西医療大学	18 名
同志社女子大学	16 名	京都女子大学	15 名	大阪経済大学	14 名
大阪薬科大学	6 名	四天王寺大学	5 名	大阪樟蔭女子大学	5 名
森ノ宮医療大学	5 名	大阪医科大学	4 名	追手門学院大学	4 名
大和大学	4 名	阪南大学	4 名	神戸薬科大学	4 名
甲南女子大学	4 名	日本大学	4 名	大阪電気通信大学	3 名
大阪大谷大学	3 名	大阪体育大学	3 名	神戸学院大学	3 名
京都産業大学	2 名	京都外国語大学	2 名	大阪歯科大学	2 名
甲南大学	2 名	兵庫医療大学	2 名	神戸女学院大学	2 名
中央大学	2 名	日本女子大学	2 名	京都薬科大学	1 名
京都橘大学	1 名	関西医科大学	1 名	千里金蘭大学	1 名
大阪国際大学	1 名	関西福祉科学大学	1 名	桃山学院教育大学	1 名
帝塚山大学	1 名	岩手医科大学	1 名	明治大学	1 名
立教大学	1 名	東京理科大学	1 名	その他の大学	10 名

指導の特長

プロの専任講師陣

SUR合格指導会では、経験豊富で大学入試を知り尽くしたプロフェッショナルな専任講師陣が責任をもって授業を行います（一部、大手予備校と兼任する講師も在籍）。長年の実践を経て完成された授業を提供します。



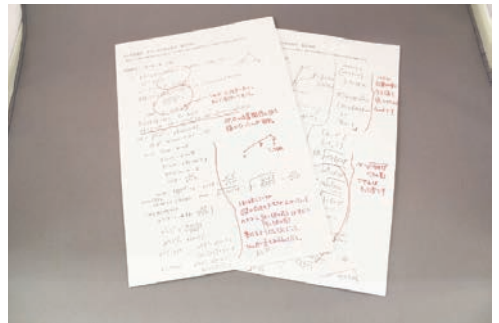
高品質な教材群

高い専門知識を持った講師陣が、実践と検証を長年繰り返した結晶としてのオリジナル教材群で指導を行います。



実戦力を鍛え上げる添削指導

国立大2次、そして一部私立大入試に必要なのが、英作文や数学論述に代表される記述式の答案です。これらは一つの問題に対して正解が無数に存在するため、個々の答案に対する専門家による添削指導が欠かせません。SUR合格指導会では、担当講師自身が十分な時間をかけて添削指導を行います。



実力テストと個人懇談

高1と高2では7、12、3月に、英語・数学の学習成果を測るためのSUR合格指導会実力テストを実施します。この答案は担当講師により入念にチェックされ、その結果は個人懇談による勉強方法改善のアドバイスに役立てられます。また、ご希望の方には保護者向け個人懇談も行っています。



快適で安全な学習環境

学習に集中できる自習室、息抜きに仲間と談笑できて食事もとることができる談話室を設置。また、堺東校は駅上ビル内にあり通塾に便利な校舎で、快適性を備えた最高の学習環境です。

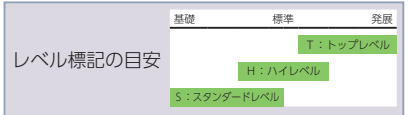


VOD 欠席フォローシステム（無料）

講義はビデオで録画されており、欠席したときはそれを後日視聴することができます。画質は板書の添え字まできれいに見えるフルHDのため、ライブの場合と遜色ない受講が可能です。



高 1



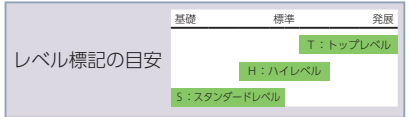
英語 T	高校英文法における重要単元の一つであり、英語の理解には欠かすことができない「分詞」の習得を、解説と演習を通して図ります。分詞を根本から理解した上で、京都大・大阪大などの難関大学で出題される英文読解、英作文にも応用できる力を育成します。
英語 H	高校英文法における重要単元の一つであり、英語の理解には欠かすことができない「分詞」の習得を、解説と演習を通して図ります。分詞を根本から理解した上で、文法問題を解けるだけでなく、大学受験に向けて英作文、英文読解にも応用できる力を育成します。
英語 S C	泉陽高校 1 年生の方対象の講座です。重要単元を数多く学習することになる夏期講習明けの学校の授業に向けて、先取りの学習をします。学校と並行した授業進度では余裕を持てなかった方、基礎内容に加えて発展内容の学習、演習をしたいという方に受講していただけます。
実践英文法	「文型」「時制」「不定詞」に焦点を当て、基本事項の確認、加えて様々な形式の問題の演習と解説を通して、実践的な知識の習得をはかります。夏期講習から入会される方を含めて、1 年生の間に英文法の基礎を確立させたい方におすすめの講座です。
数学「三角比」 T / H	cos、sin、tan の意味と性質を理解し、図形問題への応用法を学びます。初等幾何では扱いにくい問題が、これらの定理によって簡単な計算問題になってしまう様子を目の当たりにしていただけます。三角比の意味とイメージを大切に、公式が成り立つ理由まで詳しく解説していきます。
150 分	
数学 S C	泉陽高校 1 年の方を対象とした数学の講座です。学校の進度に合わせて、数学 I または A の内容を講義（学校の進度によっては復習も含む）します。高 1 の間に学習する内容は、以降の学習の土台となるものばかりです。授業ではその中でも特に重要な事項を精選し、指導します。
数学 I A 演習（上級編）	数学 I A の既習単元について演習を通じてより深く学びたい方、数学に自信がある方が対象の講座です。「2 次関数」と「場合の数」の大学入試レベルの問題に触れることで、知識とその活用方法の整理を行っていただけます。 ※受講基準：2 次関数、2 次方程式・不等式、場合の数をすべて学習していること。
数学 I A 演習（標準編）	数学 I A 「数と式」「2 次関数」「場合の数」について復習がしたい方対象の講座です。数と式や 2 次関数はこれからの数学にも深く結びつく単元、場合の数は入試頻出の「確率」に直結する単元です。これらの重要単元をしっかりとマスターすることで、高校数学の学習ペースをつかみましょ。う。 ※受講基準：数と式、2 次関数の最大・最小、場合の数を学習していること。
現代文・古文	現代文・古文を各 2 日扱います。長く難度が高い文章を目の前にして、どこが重要な箇所なのかを見抜くなど、「自力で読み解く」ためには何をすればいいのか。その読み方の基本的方法論を伝授します。「何となく」「雰囲気」で読むという方法から脱却して、正しい国語の勉強法をマスターしましょう。

1講座は4回で、授業時間は特に記述がない限り100分/回です。

高2

英語 T 150分	重要文法事項を整理しながら、「なぜそのようなのか」の視点から踏み込んだ指導を行います。抽象的で難度の高い入試英文の読解法やその背景について学びます。英作文では、「英作文を書くための英文法」をマスターすることを目標とし、添削指導を通して論理的で自然な英文の書き方を学びます。
英語 H	大学入試頻出の「itを含む構文」と「挿入」について、難関大学入試問題の英文を用いて指導を行います。代名詞だけでなく、形式主語・形式目的語や強調構文などでも用いられる it、加えて難読文でよく見られる「挿入」についてここで整理しましょう。
英語 S	大学入試頻出の「itを含む構文」と「挿入」について、基礎をかためる指導を行います。代名詞だけでなく、形式主語・形式目的語や強調構文などでも用いられる it、加えて難読文でよく見られる「挿入」についてここで整理しましょう。
必修英文法	英文法について応用力を身につけたい方対象の講座です。構文理解から英作文まで対応できるように、「文型」「準動詞」にしばり演習、解説を行い英文法の応用の方法を学びます。基本事項の整理が行われていることを前提として授業を進めていきますので、事前に該当範囲を復習しておきましょう。
数学「積分法」 T/H 150分	数学Ⅱ「積分法」を扱います。微分・積分の計算システムはあまりによくできているため、理論を知らなくても計算さえ丸暗記していれば答えが求まりますが、それでは難関大入試に通用するレベルには至りません。この講座では答えを求めるのではなく、考え方を理解することに重点を置いて指導します。 ※受講基準：数学Ⅱ「微分法」を学習していること。
数学「微分法」 S	数学Ⅱ「微分法」を扱います。微分法および積分法は、理系や経済系志望の方にとっては数学Ⅲや大学で学ぶ数学の内容に直接つながる単元として、その他の方にとっては入試できわめて頻出の単元として、たいへん優先順位の高いものと言えます。この夏で微分法の考え方と計算方法をマスターし、大学受験に備えましょう。Sクラスでは数学Ⅱ「積分法」は8月期以降で扱います。
数学「漸化式・帰納法」 S	数学B「数列」の後半部分である漸化式および数学的帰納法を4日間で修得します。これらは苦手とする方が非常に多いテーマですが、ポイントを押さえて正しく学習することで実は得点源にさえなります。授業ではそのポイントを重点的に講義します。 ※受講基準：等差数列・等比数列・いろいろな数列の和を学習していること。
入試数学特講（上級編）	これまでに学習した内容の難関大入試レベルの問題を題材に、入試対策としての数学の学習法を提示します。文系・理系は問いません。京都大や大阪大などの最難関大を目指す方、数学に自信がある方が対象です。問題の解説を通じて、自学自習では見えない解法の必然性について重点的に講義します。
入試数学特講（標準編）	これまでに学習した内容の入試レベルの問題を題材に、入試対策としての数学の学習法を提示します。文系・理系は問いません。神戸大や同志社大などの難関大を志望する方が対象です。単なる既習単元の復習に終始することなく、自学自習では見えない「考え方」についても講義します。
現代文・古文 H	現代文・古文を各2日扱います。正確な知識にもとづく「正しい読み方」をさまざまな文章で演習します。現代文では特に評論文の演習の中で「対比構造」や「論と例」の把握を中心に確認し、古文では用言・助動詞など知識面の確認だけでなく、人物関係の把握方法なども読解演習の中で提示します。
物理「熱力学」 H	理系の方を対象とする講座です。「熱力学」の単元について、基礎事項の解説と、入試標準レベルの問題演習を行います。熱力学は多くの大学の入試問題で頻出の分野ですので、基本内容の理解を通じて、熱力学的な状況を分析する考え方を身につけていただきます。
化学「理論化学演習」 H	化学基礎で学習する単元について、酸・塩基と酸化還元を中心に、理論化学の各分野について、入試問題を用いた演習を行う講座です。各単元に不安が残っている方も、少し骨のある演習を行いたい方も、是非とも受講してください。本講座で「理論化学の考え方」を身につけていただければと思います。

高 3



英語 T 150分	トップレベルの英文を用い、構造分析、下線部和訳、マクロ的読解を指導します。抽象度の高い重要語の概念理解、論理的思考力の養成だけでなく、難語を含んだ読解法に至るまで様々なテーマと形式に対応できる力を身につけます。また、添削指導を通して、論理的で自然な英作文の方法も指導します。
英語 H	英文読解では、長文化傾向にある難関大の入試問題に対応するために、素早く読んで内容を解釈する技術である「パラグラフリーディング」を指導します。英作文では、長い和文を英訳する際に必要となる「節の処理の仕方」について指導します。実戦的な読解力と減点されない解答作成能力を身につけます。
英語 S	大学入試で最も大きな割合を占めているのが英文読解です。長文を素早く読んで内容を解釈するためには英語を一文一文読む力に加えて、論理的なつながりを意識する必要があります。この講座では長文を読む技術である「パラグラフリーディング」の基礎を指導し、実戦的な読解力向上を目指します。
英単語増強講座	「へん」と「つくり」から漢字を覚えるように、単語のコア(核)のイメージを通して覚えます。例えば、com(共)+ven(来)から成る conventionは「人が集まってくる」→「集会」→「取り決め」→「慣習」となります。派生語や多義語、難語を効率よく整理する方法を学びます。
整序英作文	関関同立などの私立大、国公立大の2次試験に至るまで、あらゆる入試問題で頻出の整序英作文の傾向と対策を指導します。整序英作文では入試で出題率が高いものを中心に演習し、英作文にも活用することができる表現も学びます。
共通テスト英語リーディング	大学入学共通テストでは、センター試験で約1/4の割合を占めていた発音・アクセント、文法・語法の問題が姿を消し、読解力がより重視されます。また、図表の比較などによる思考力が問われる問題も出題されることが予想されます。模擬問題を通じた演習と解説を通し、情報処理の速度と正確さを磨きましょう。
共通テスト英語リスニング 50分	センター試験に比べ、多くの大学で配点の割合が増える大学入学共通テストのリスニング問題。読み上げ回数は少なくなる一方で処理する情報は多くなり、難易度が高まることが予想されます。早期から「普段の学習で心掛けるべき対策」と「試行調査をふまえた対策」を意識した学習をするための講座です。
京大・阪大理系数学 150分	京大・大阪大・医科系単科大などを理系学部志望者を対象としたハイレベルの講座です。授業はテストゼミ形式で行い、テスト終了後解説し、答えは添削して返却します。出題は入試で必要となる数学ⅠAⅡBⅢの全範囲から出題します。テストゼミで実戦力を養成してください。
神大理系数学 150分	神戸大理系学部および同レベルの国公立大理系学部を志望している方を対象とした講座です。数学ⅠAⅡBⅢの全範囲を総合的に扱い、典型的な問題を確実に得点することに重点をおいて進めていきます。2回程度テスト演習も取り入れて実戦力を鍛える練習もしていきます。
数学ⅠAⅡB-H/S	数学ⅠAⅡBの「確率」「数列」「ベクトル」といった入試頻出の重要単元について、入試問題演習を行い、基礎知識を確認して弱点補強をするとともに、定番の解法に関してなぜそのような解法なら正解に結びつくのかといった解法の選択のポイントを解説します。
数学Ⅲ速習H	理系数学の入試問題で配点が高く、合否への影響も大きい数学Ⅲ【微分法】【積分法】について、神戸大や大阪市大、大阪府大などの難関大で頻出かつ重要なテーマの問題を扱います。理系志望の方にとって、入試における得点力向上に直結する講座です。
数学Ⅲ計算特訓	数学Ⅲ速習Hを受講している方や数学Ⅲの計算部分に不安のある方対象の講座です。数学Ⅲでは他の分野とは一線を画す質・量の計算力を要求されます。公式が多数登場し、計算方法もテクニカルで、複雑です。この講座を受講することで、必要な知識、技術を短期間で身につけ、さらに計算を最後まで完遂できる力も身につけます。
共通テスト数学ⅠAⅡB	共通テスト試行調査(プレテスト)の数学ⅠA、数学ⅡBの問題分析と、予想問題の演習・解説を行う講座です。2次試験とは異なる「共通テストにこそ必要な力」とはどんなもので、それを本番までに高めるにはどのように学習すればよいかについても講義します。 ※数学ⅠA、ⅡB各2回です。ⅠA(2回)のみの受講も可能です。
国公立大現代文	国公立大2次試験において記述式の現代文が必要な方対象の講座です。最後の二つまで絞った選択肢を失敗せずにどう一つに絞るか、また真に本文の内容を把握した、減点されない記述答案への脱皮を図るにはどうすればいいのかということを指導します。国公立大2次試験対策や難関私立大対策への重要なステップになります。

1講座は4回で、特に記述がない限り100分/回です。

私立大現代文	私立大入試において現代文が必要な方対象の講座です。国語の答案作成に不慣れであることを前提に「7割を取る答案」を目指します。選択肢を吟味して確実に絞り込むテクニックは、文系志望者には必須です。マーク式問題への対応を中心に授業を行い、論述型問題にも合格点が取れる答案作りを指導します。
共通テスト現代文	現代文は、解くためのテクニックをマスターすることによって飛躍的に点数が上がり、安定します。講義では共通テストの出題傾向を十分に踏まえた上で、予想問題などの演習・解説を通して「共通テスト特有のポイント」の見抜き方、効果的な文章の読み方や解答の選び方を基礎から講義します。
私立大古文	関関同立大や早稲田大、GMARCHを中心とする私立大入試の問題文を扱うことで、出題形式を知るとともに、古文読解の基礎となる単語力と文法力を整理・強化していきます。また、この基礎力を土台とした、長文の読解方法（人物把握法など）や客観問題の選択肢の絞り込み方を指導します。
共通テスト古文・漢文	古文の読解においては文法力と単語力、漢文においては句法が大切ですが、選択肢を利用した本文の読解法など、共通テストの古文、漢文には独特の解法があります。その解法により高得点を目指す講座です。特に国公立大理系志望の方におすすめの講座です。
古典文法復習講座A (用言・助動詞編)	文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。用言・助動詞を単元として、「ポイント講義→演習→解説」の形式で、各単元の基礎事項の理解を深め、選択式の文法問題から短文現代語訳問題まで解答できる実力を養います。文法問題の正答率を高めることは読解力の向上にも繋がるので、この講座で「使える知識」を習得しましょう。
古典文法復習講座B (助詞・敬語編)	文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。助詞・敬語を単元として、「ポイント講義→演習→解説」の形式で、各単元の基礎事項の理解を深め、文法問題を解答できるだけだけでなく、読解に活かす文法力を養います。受験生の力の差が如実に見える単元だからこそ、この講座で「使える知識」を習得しましょう。
古典文法復習講座C (識別・和歌の修辞法編)	文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。「識別」では演習と解説を通じて文法の総整理を行い、「和歌の修辞法」では丸暗記に頼らない文法に基づく解析方法の習得を図ります。国公立大や難関私立大を志望者はこの講座で、古文の得点力を身につけましょう。 ※基礎を定着させたい人は、用言・助動詞編、助詞・敬語編を受講してください。
物理「熱力学」T/H	レベルに応じた演習を行い、入試問題に対する実戦力をつけていきます。この講座では熱力学を一通り学習し、問題においてどのような状態変化が起こっているかを読み解く力をつけます。Tクラスは京都大、大阪など志望の方、Hクラスは神戸大や大阪市大、関関同立大志望の方向けになっています。
物理「電気」T/H	レベルに応じた演習を行い、入試問題に対する実戦力をつけていきます。この講座では電場、電位からコンデンサーの性質まで取り扱います。電気特有の考え方をつかんでいきましょう。Tクラスは京都大、大阪など志望の方、Hクラスは神戸大や大阪市大、関関同立大志望の方向けになっています。
化学「反応速度と化学平衡」 T/H	理論化学の最重要分野である反応速度、気相平衡、電離平衡、溶解度積を、講義および演習する講座です。難関国公立大学の2次試験では、反応速度や平衡の問題が勝敗を分ける大きなポイントになります。現役生においては演習が不足しがちな分野なので、夏期に間に克服しておきましょう。
化学「無機化学(金属元素)」 T/H	無機化学の分野のうち、主に金属元素の範囲を、講義および演習する授業です。アルカリ金属元素、アルカリ土類金属元素、両性元素、遷移元素、金属イオンの分離、錯イオンなど、各単元で学習する内容は理論化学の酸化還元反応の考え方にもつながりますので、理系の受験生は必ず受講してください。
日本史：明治史(前編)	大学入試で日本史を必要とするすべての方を対象とする講座です。明治新政府の樹立～自由民権運動を単元として講義を行います。列強の接近により開国を余儀なくされた日本が、植民地化の危機にあった状況をいかに乗り越えて、明治新政府を成立させていったのかを眺めていきます。 ※通年カリキュラムの一環です。後編とセット受講してください。
日本史：明治史(後編)	大学入試で日本史を必要とするすべての方を対象とする講座です。明治新政府がいわゆる「大日本帝国」として確立していく明治期後半を単元として講義を行います。これまでの「アジアの中の日本」ではなく、「世界の中の日本」という視点で歴史を眺めることで複合的な理解を促します。 ※通年カリキュラムの一環です。前編とセット受講してください。
日本史：文化史特講A (古代)	大学入試で日本史を必要とするすべての方を対象とする映像講座です。古代文化(古墳、飛鳥、白鳳、天平、弘仁貞観、国風、院政期)を扱います。文化史用語は膨大な数がありますが、それでも文化「史」というからには「流れ」が必ずあります。政治・社会経済・対外関係など通史の流れをしっかりと関連付けることで文化史を「理解」して、武器にしましょう。
日本史：文化史特講B (中世～近世前半)	大学入試で日本史を必要とするすべての方を対象とする映像講座です。中世～近世前半の文化(鎌倉、室町、安土桃山、寛永、元禄文化)を扱います。武家政権の誕生、ヨーロッパとの出会いなど、古代史とは異なる特徴をもつ時代だからこそ、通史の流れをしっかりと関連付けることで、文化「史」を理解するだけでなく、通史の知識の底上げも図ります。
日本史：文化史特講C (近世後半～近現代)	大学入試で日本史を必要とするすべての方を対象とする映像講座です。近世後半～近現代の文化(化政、明治、大正、昭和、現代の文化)を扱います。現役生の多くが時間をかけないまま本番を迎えるこの単元を、得点源にすることは大きな武器になります。通史の流れをしっかりと関連付けることで文化「史」を理解するだけでなく、通史の知識の底上げも図ります。

お申し込み方法・受講料・その他

■お申し込み方法

校舎で直接お申込み 受付時間 13:30 ~ 21:00 上記時間外のお申込みについては事前 にご連絡ください。 受付期間 各講座の授業開始 2 日前まで	お電話でお申込み 受付時間 13:30 ~ 21:00 受付期間 各講座の授業開始 2 日前まで	FAX でお申込み 受付時間 24 時間 申込書を FAX でお送りください。 受付期間 各講座の授業開始 2 日前まで
--	---	--

■受講料

50分×4回を1単位とします。100分×4回の講座は2単位、150分×4回の講座は3単位となります。受講する講座の単位数を合計します。

単位数	受講料 (税込)	単位数	受講料 (税込)
1 単位	7,700 円	9 単位	51,700 円
2 単位	14,300 円	10 単位	56,100 円
3 単位	20,900 円	11 単位	60,500 円
4 単位	27,500 円	12 単位	64,900 円
5 単位	33,000 円	13 単位	69,300 円
6 単位	38,500 円	14 単位	72,600 円
7 単位	42,900 円	15 単位	75,900 円
8 単位	47,300 円	16 単位以上	79,200 円

【高1 特典】

・夏期講習受講料特典

合計で8単位以上受講の場合→受講料は一律8単位分

【高2 特典】

・150分講座パック

150分×4回の講座を2講座受講の場合

→これらに掛かる受講料は5単位分

・高2物理・化学スタートパック

高2物理、化学を2講座受講の場合

→これらに掛かる受講料は2単位分

・夏期講習受講料特典

合計で10単位以上受講の場合→受講料は一律10単位分

【高3 特典】

・夏期講習受講料特典

合計で16単位以上受講の場合→受講料は一律16単位分

受講登録費 SUR 合格指導会に入会しないで当講習のみを受講する場合は、受講料の他に受講登録費 3,300 円 (税込) が必要です。提携塾の現会員・元会員の方、現会員・元会員の兄弟姉妹の方は受講登録費は不要です。

■お申し込み上の注意事項

●個人情報保護

お申込みの際にお知らせいただく個人情報につきましては、当塾の受講に関する事務手続きおよび各種案内郵送のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

●受講の取りやめ

受講手続き後、学習開始前にすべての講座の受講を取りやめる場合は、校舎までご連絡ください。納入金を全額ご返金いたします。受取済みの教材は返却が必要です。なお、一部でも受講を開始した場合、すべての講座の受講取りやめはできません。

●講座の追加・変更

追加のお申込みは随時承っております。また、受講開始前であれば、別の講座に変更することが可能です。

●一部講座の取りやめ

受講開始前であれば、ご相談ください。1回でも受講した講座の取りやめはできません。

●遅刻・欠席

遅刻・欠席の場合は必ず校舎までご連絡ください。なお、欠席による補習授業や個別フォローは行いませんが、VOD 欠席フォローシステム (無料) で後日受講していただけます。

●VOD 欠席フォローシステムについて

ビデオによる授業の録画については、雷等の自然現象および機器の不具合等で録画できないことがあります。その場合、視聴予約をされていた方には授業ノートのコピーをお渡しすることで対応させていただきます。録画ができなかったこと等による受講料の返金はいたしかねますので、何卒ご了承ください。

お申込み
お問合せは

堺東校

〒590-0028 堺市堺区三国ヶ丘御幸通59堺タカシマヤ7F

TEL:072-282-2021

FAX:072-282-2036

本部事務局

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-6-2 KFセンタービル

0120-4119-03

